芝浦工業大学
女子学生・卒業生・女性教職員の
ネットワーク
Shiba-jo

プラチナネットワーク

芝浦工業大学大学院博士課程
機能制御システム専攻
2021年修了
代表　**金丸 真奈美**

代表挨拶

Shiba-joプラチナネットワークでは女性教職員や在学女子学生、卒業生と交流し、キャリア形成やワークライフバランスについて情報共有する機会を提供することを中心に活動しています。在学女子学生と卒業生、教職員をつなぎ、工学系の女性のキャリアパスやライフイベントを想像しやすくするイベントを開催しています。また、卒業後もキャリアや結婚・出産・子育てといったライフイベントでの相談ができる環境を用意する取り組みも進めております。

これまでは在学生と卒業生、教職員すべての属性の女性をつなぐイベントを中心に開催してまいりました。しかしながらその規模ゆえに開催の頻度を上げることが困難であり、気軽に参加するのが難しく感じられることが課題となっておりました。したがって、今後は今までのイベントはそのままに、在学生、教職員、卒業生それぞれが交流を図ることができる場を頻繁に用意することを計画しております。以前開催されていた教職員のランチ会の再開を皮切りに、在学生が興味を持てる題材での趣味の会等で気軽に話せる関係性を育むことで、Shiba-joプラチナネットワーク内の活動を活性化させていきたいと考えております。

Shiba-joの活動には様々な年代や職種の卒業生の皆様のご協力が必要不可欠です。ぜひShiba-joプラチナネットワークを通じて、異なる世代の女性たちと交流し、自身のキャリアやプライベートについて考え、相談する場としてご活用ください。

2024年10月12日㈯
Shiba-jo懇親会報告

2024年10月12日（土）豊洲キャンパスにてShiba-joプラチナネットワーク懇親会が開催されました。オンライン参加者1名を含む、計15名が集まりました。冒頭、磐田室長が開会の挨拶を行い、次に金丸真奈美代表による活動報告、続いて参加者全員が自己紹介と近況報告をしました。その後、参加者がShiba-joに求めるものや、在学生にどのように貢献できるか、今後のShjiba-joのあり方について、活発な意見交換を行いました。

同日夕方からは豊洲キャンパス本部棟1階にある銀座シシリアへと移動し、子供2名を含む11名で食事会を行いました。初参加も多く、幅広い立場の方々との情報交換が行われ、和やかなひと時を過ごすことができました。

芝浦工業大学の女子学生、女性卒業生・教職員の皆様

女子の友達を増やしたい

Shiba-jo
プラチナネットワーク会員
絶賛募集中！

会費無料

こんな時
他の教職員は
どうしているのか
聞いてみたい

面白そうな
イベントがあれば
参加したい

芝浦女子の「やってみたい」「聞きたい」「つながりたい」など様々な想いにこたえます。あなたもShiba-joプラチナネットワークの会員になって芝浦女子を盛り上げていきましょう。

Shiba-joプラチナネットワークとは　URL: https://bit.ly/3Szqybr

お申込みはこちら
https://forms.office.com/r/tgx2ehDgXB

芝浦工業大学 DE&I推進室 ニュースレター 第8号
発行者／芝浦工業大学 DE＆I推進室
〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307

TEL　048-720-6440
E-mail　desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp
URL　https://www.shibaura-it.ac.jp/about/gender-equality/

芝浦工業大学 DE&I推進室 ニュースレター

NEWSLETTER

Vol. 08
2025.3

発行／芝浦工業大学 DE&I推進室　Diversity Equity and Inclusion Promotion Office, SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

DE＆I推進室長挨拶

芝浦工業大学　副学長
DE&I 推進室　室長
磐田 朋子

2023年10月に、男女共同参画推進室からDE&I (Diversity Equity & Inclusion) 推進室に名称を変更して1年強が経過しました。2024年度の女子学生入学者比率は26.6%に達し、芝浦工業大学100周年に向けて掲げた女子学生比率30%に向けて順調に歩みを進めています。授業や留学等で海外へ飛び立つ学生数はコロナ禍前と同程度まで回復しているほか、海外から本学に来て学ぶ留学生は2000人に達しようとしており、キャンパスの中でも多様性を感じられるようになってきました。"イノベーションは多様性の中から生まれる"を合言葉に、社会を構成する多様なメンバーがそれぞれ尊重され、力を発揮できる大学となることを目指して、今後もDE&I推進室は誰もが安心して学び、働ける教育・研究・職場環境の確立に向けた様々な取り組みを行って参ります。

SWCC社との包括協定に基づいた連携企画

本学とSWCC株式会社は、ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DE&I）を共に推進すべく、2023年12月13日（水）に包括連携協定を締結しました。その連携企画第1弾として、2024年5月21日（火）に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて、ダイバーシティの重要性を積極的に発信し、アーティストとしても注目を集めている東京藝術大学美術学部デザイン科准教授であるスプツニ子！さんをお招きし、ダイバーシティ講演会「Cultural Kaleidoscope: 多彩な文化が織りなす企業の未来」を開催いたしました。本講演会は、技術分野で活躍する女性のロールモデルを紹介し、男性を含めたすべての学生にこれからのキャリアやダイバーシティを考えるきっかけとしていただくとともに、理系の皆さんを応援するメッセージを伝えたいという思いで開催されました。本講演会は、スプツニ子！さんの特別講演と、本学の磐田室長、SWCC社の西村社外取締役の3名によるトークセッションの2部構成で進められ、当日会場には、学生だけでなく附属高校の生徒や社会人の方など多数ご参加いただいたほか、ライブ配信でも多くの方に視聴いただき、本テーマへの関心の高さをうかがい知ることができました。 https://surl.jp/JDpVjB7R

スプツニ子!さん、磐田室長、西村社外取締役の3名によるトークセッションの様子

次に連携企画第2弾として、2024年12月12日（木）に大宮校舎2号館の学生課窓口前のスペースで、SWCC社の技術を学生に紹介する、体験型のイベントを行いました。SWCC社の電力ケーブルをはじめとする製品、免震などの技術やSWCC社のダイバーシティ推進プロジェクトSWCCarat（カラット）を紹介するポスターを展示し、訪れた学生に同社エンジニアが説明しました。またカメラの映像データから立体データを生成するボリュメトリック技術によるVR映像と、実写映像を合成した「AVR (Advanced Virtual Reality)」技術を、ヘッドマウントディスプレイを装着して体験するコーナーも設けられました。当日は100名を超える学生が参加・体験しました。 https://surl.jp/s9atn8YW

SWCC社のエンジニアが同社の技術等を学生へ説明している様子

2025年3月末に連携企画第3弾として、SWCC社相模原事業所の体験・見学バスツアーの開催を予定しています。

学内トイレに関する取組について

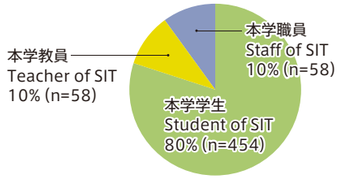
DE&I推進室では、ダイバーシティが進む本学において、国籍や性別などを問わず誰もが過ごしやすい大学環境の実現を目指しています。今回はトイレに関する取組についてご報告します。

オールジェンダートイレ試行

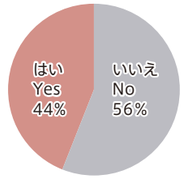
実施期間：2024年6月1日(土)～6月30日(日)
目　　的：誰もがストレスなくトイレを利用できるよう「選択肢を増やす」
方　　法：各キャンパスに1か所ずつ、既存の男女別トイレに、オールジェンダートイレのサインと案内ポスターを設置。男子トイレの小便器前には衝立を設置し使用不可としました。ポスターでは、DE&I推進に向けた取り組みについての動画もご案内しました。
意見収集：オールジェンダートイレ試行と並行して学生及び教職員に対してアンケートを実施しました。572件のアンケート結果から、多様な背景を持つ人々にとって使いやすいトイレが必要であるという意識とニーズが確認されましたが、真逆の意見や、「オールジェンダートイレ」の設置が最善の解決策ではないという意見も多く寄せられました。

アンケート結果

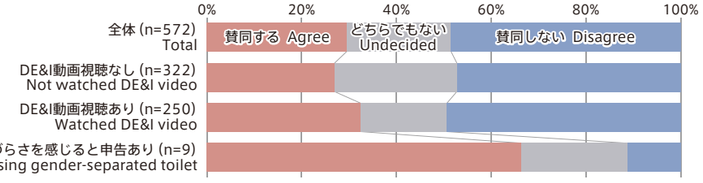
あなたの立場を教えてください。
Please select your position.



DE&I推進に向けた取組みについての動画をみましたか。
Have you watched the video about our initiative?



オールジェンダートイレの設置についてどう思いますか。
What do you think about the introduction of all-gender restrooms?



座談会「大学のinclusionを考える～誰もがストレスなく利用できるトイレの在り方について～」

試行後の取り組みとして、トイレの在り方について考え、改善するための座談会を開催しました。 https://surl.jp/XcbrUpfK

開 催 日：2024年7月30日(火)
開催方法：対面(大宮キャンパス)とオンラインによるハイブリッド
参 加 者：学生・教職員　16名

冒頭に磐田室長よりDE&I推進室の取組を紹介し、座談会の趣旨について「答えを出すことではなく、感想・意見を共有して一緒に考えることを目的にする」と説明がありました。続いて、参加者からオールジェンダートイレ設置についての意見・感想が共有されました。以下抜粋です。

- ■多くの参加者はオールジェンダートイレの設置に賛成の意向を示しており、少数派が安心して利用できる環境整備の必要性を感じている。
- ■全員が100%満足することは難しいが、譲り合いと思いやりを持ち、対話を重ねることが重要。
- ■困っている人の存在を知り、全員が安心して過ごせるキャンパスを目指すべき。
- ■犯罪リスクの懸念。
- ■犯罪防止と利用しやすさを両立させるための具体的な提案。
- ■試行時の周知不足による混乱の発生。

多機能(多目的)トイレマップの作成(2024年12月)

トイレに備わる設備が一目でわかる「多機能トイレマップ」を作成し、学内に掲示しました。 https://surl.jp/jR2x5PJJ

- ■オムツ交換台、オストメイト対応設備、フィッティングボード等の表示。
- ■設備の違いを調査し、特定のトイレしか利用できない方もいることを明示。

大宮キャンパスの新校舎におけるトイレ計画

新校舎にはDE&I推進室の意見を取り入れたトイレの設置を計画中です。

トイレの在り方一つをとっても、人それぞれの考え方や思いは多様です。DE&I推進室では、今後も多様な個性が輝き、誰もが安心して学び働ける環境の実現を目指し、試行錯誤を続けていきます。ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョンへのご理解とご協力がますます重要となります。

主な活動報告

▶2024.3.14
FD･SD 研修「知っておきたい介護の基礎知識」

2024年3月14日(木)に、DE&I推進室主催でFD･SD研修「知っておきたい介護の基礎知識」が豊洲キャンパスにて対面とオンラインを併用したハイブリッドで開催されました。講師には本学の工学部建築学科を卒業された、株式会社ワーク＆ケアバランス研究所代表取締役社長の和氣美枝様をお迎えしました。誰もが経験する可能性のある介護について、介護保険や仕事の両立、公的な支援センターなどについて、ご自身の経験も踏まえて軽快にご講演いただき、参加者みんなで「地域包括支援センター」と合唱するなど、盛況に研修を終えました。参加者からは介護のイメージがつき、保険制度や公的支援などの存在を知ることができ、介護を考える良い機会になったという声が届きました。

研修の中で、人事課より、芝浦工業大学で整備されている介護関連の制度についての説明がありました。法律と照らし合わせた本学の諸制度の説明会は初の試みということもあり、参加者からは「制度の存在を知らなかった」「年に1回開催してほしい」「職場の理解が必要」「更なる制度の拡充を」などの反響･意見がありました。

本学制度に関するWEBサイト：**https://surl.jp/xaCn28aW**

▶2024.10.24
女性職員座談会『キャリアアップと well-being』

事務職員の男女比がほぼ1:1ながら管理職の女性割合が3割弱にとどまる本学では、これを5割に引き上げることを目指し、さまざまな取り組みを行っています。女性のキャリアアップと well-being の実現に向けた取組として、2024年10月24日（木）　女性職員座談会が、豊洲キャンパスで開催されました。管理職への不安は男女共通で、働きやすい職場環境は男性にとっても重要であるという考えから、座談会はオンラインで配信し性別問わず多くの職員に視聴いただきました。

登壇者は、年代･職位･ライフステージの異なる女性職員4名。どんなキャリアパスをどんな想いで歩んできたのか、歩んでいきたいのか、キャリアを積み上げる過程での課題や不安は？など、磐田室長の司会で、本音で語り合っていただきました。

研修後のアンケートでは、上層部の女性比率の低さが問題として挙げられました。また、育休中の人員補充や業務効率化が求められ、組織全体での意識改革が必要との意見もありました。

参加者の多くが、男女問わずライフイベント時の働き方や、管理職の在り方などについて考える良い機会になったと回答されました。

座談会の詳細はこちらからご覧いただけます。
https://surl.jp/dJyKdFkq